

## 2014年9月～10月のJ-stage アクセスランキング

(対象論文：44巻1号～49巻1号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料の計171編)

### 上位20位の論文情報

順位	DL	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	115	総説	PM2.5の実態解明に向けてー最近の研究と今後の課題ー	伏見暁洋	46	84
2	48	原著	エアロゾル質量分析計により沖縄県辺戸岬において観測されたエアロゾル化学組成	三好猛雄	48	1
3	46	原著	日本における自動車由来大気汚染物質排出の30年史	神成陽容	48	20
4	38	技術調査報告	2011年度の連続測定結果に基づく全国的なPM2.5汚染の状況解析	板野泰之	48	154
4	38	総説	微小粒子状物質(PM2.5)の測定	坂本和彦	46	61
6	37	原著	長崎県福江島・福岡県福岡市におけるエアロゾル金属成分の特徴と発生源推定	鈴木亮太	49	15
6	37	総説	PM2.5に関する海外動向と測定・モニタリング・成分分析に関する今後の課題	若松伸司	46	77
8	36	原著	大気エアロゾル中のイオン成分および無機元素成分の粒径別高時間分解能測定	鶴田昭博	48	82
8	36	原著	首都圏小規模森林における大気中酸性物質の鉛直分布と森林フィルター効果	高田賢	49	26
10	35	速報	何故2013年冬季の中国でPM2.5が高濃度になったか？	鶴野伊津志	48	274
11	34	原著	レーザー誘起蛍光法に基づく大気中ポテンシャルオゾンの測定	松本淳	48	35
12	31	技術調査報告	排ガス中のダスト及びPM2.5の連続測定法の検討	丹羽忍	46	233
13	30	原著	北関東における微小粒子状物質のレセプターモデルと放射性炭素同位体比を指標とした発生源推定	高橋克行	46	156
14	29	原著	誘導体化ー加熱脱着GC/MS法によるPM2.5中の極性及び非極性成分の簡易分析	上野広行	47	241
15	28	速報	2013年1月に中国北京市で採取した高濃度PM2.5、PM1の特徴	米持真一	48	140
15	28	原著	2012年夏季の富士山頂および山麓における大気中揮発性有機化合物の挙動	山本修司	49	34
15	28	原著	日本および中国における大気粒子中多環芳香族炭化水素キノンの観測	片山裕規	46	20
18	27	原著	大気汚染予測システム(VENUS)の構築と検証	菅田誠治	46	49
18	27	原著	名古屋市におけるPM2.5の化学組成と高濃度発生パターンを経年変化	山神真紀子	46	139
20	26	原著	都市ごみ焼却施設から排出される微小粒子へのダイオキシン類除去対策強化	塩田憲司	46	224
20	26	技術調査報告	2011年2月上旬に観測された広域的なPM2.5高濃度衛ソードの要因推定	山神真紀子	48	196

同一IPアドレスからの複数アクセスは1回としてカウントしています。